

産学官の連携によるカーブアウト型
ベンチャーの設立について
- (株)QDレーザの事例 -

2007年11月26日

(株)QDレーザ

代表取締役菅原 充

QD Laser Confidential

QDLASER

QDレーザ社の概要

- 会社名 : 株式会社QDレーザ
- 設 立 : 2006年4月24日
- 資本金 : 4億9千万
 - 出資比率: 富士通61%、三井ベンチャーズ(MVC) 39%
- 所在地 : 東京都千代田区大手町 (MVC事務所内)
- 事業内容 : 富士通・東京大学・NEDO産学官連携に基づく、
通信用量子ドット光デバイスの開発・製造・販売

Atsugi R&D Center, Fujitsu Laboratories



Dr. M. Sugawara
President & CEO
QD Laser Inc

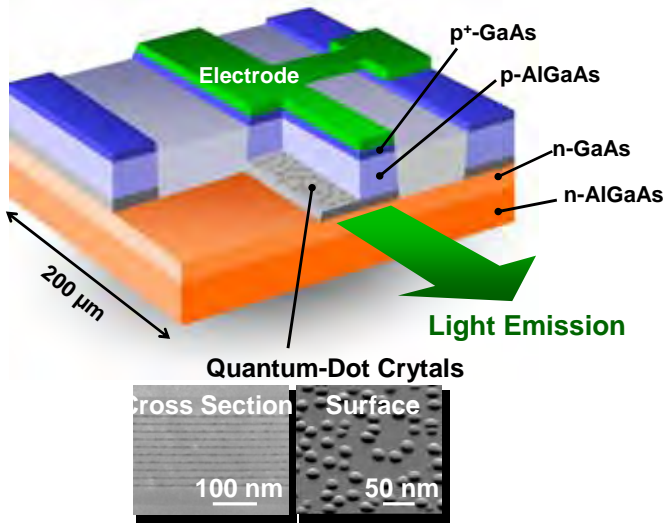


Prof. Y. Arakawa
Technical Advisory
University of Tokyo

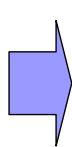
QD Laser Confidential

QDLASER

量子ドット (QD) レーザの性能と意義



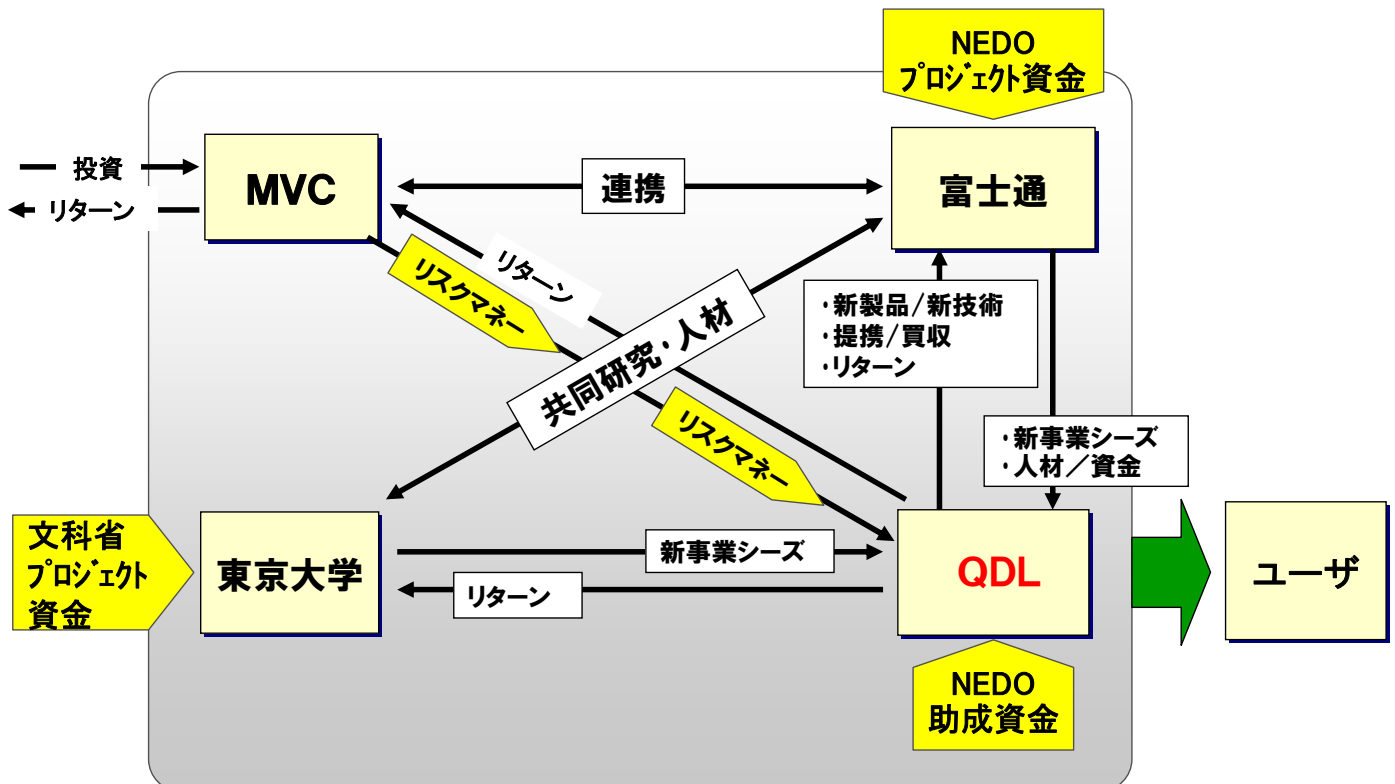
- ナノ結晶量子ドットを搭載
- 高性能光通信用レーザ
 - 温度安定 (-40 - 100°C)
 - 高速 (10Gb/s)
 - 低消費電力 (1/2)
 - 大量生産・低コスト



情報通信の普及を加速

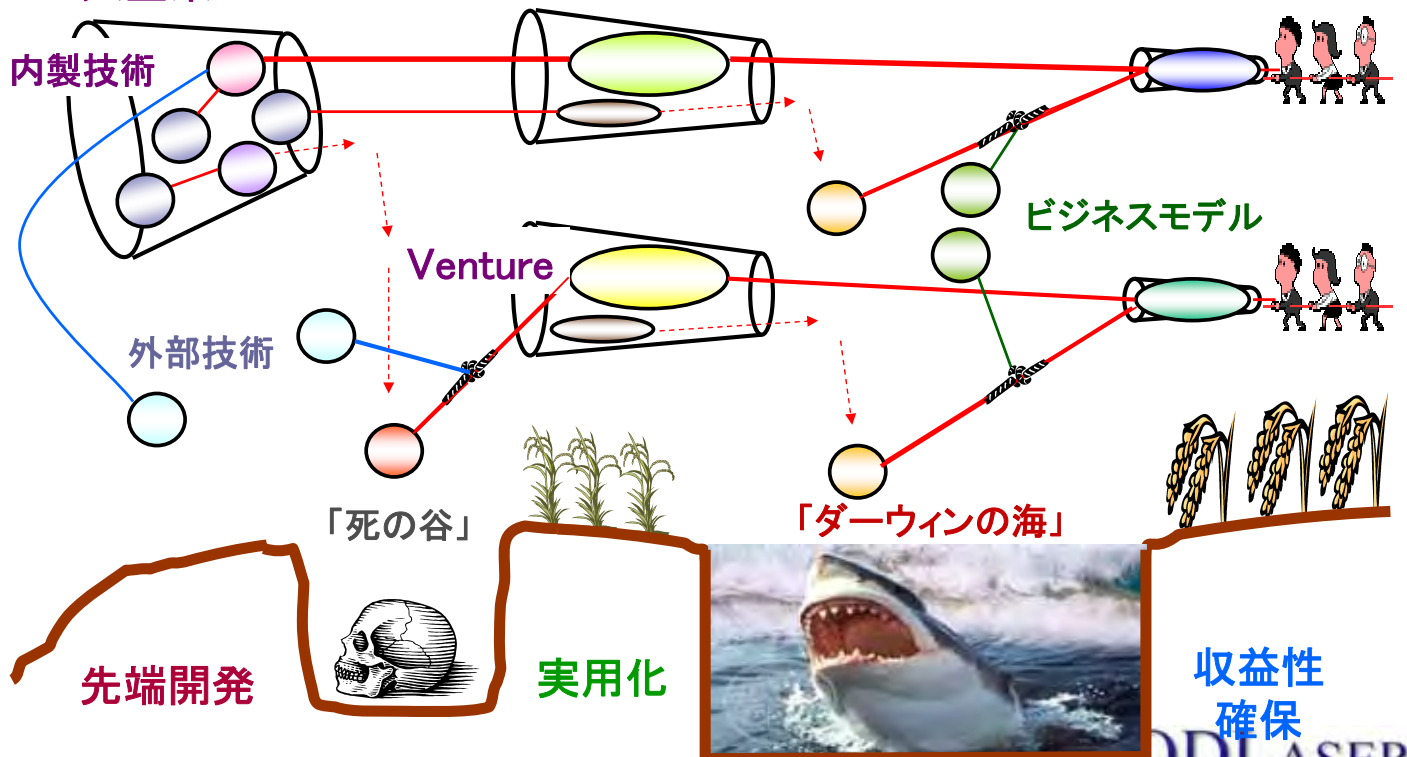
- 光通信 (FTTH・光LAN, etc.)
- 情報家電・車載LAN・医療・画像処理

QDL設立の枠組み



カーブアウト型ベンチャーの位置づけ

大企業



QD Laser Confidential

QDLASER

カーブアウト起業に関わる課題

- 破壊的技術のビジネスモデル構築
 - 小規模早期の成功
 - 外部技術の活用
- 事業計画立案と資金の確保
- 知財実施権の確保
- 人材の確保
 - 有為・有志
 - 開発・製造(量産)・物流・商流
 - CTO・CFO

QD Laser Confidential

QDLASER